

令和7年度第2回一関市藤沢情報通信センター放送番組審議会 会議録

1 会議名 令和7年度第2回一関市藤沢情報通信センター放送番組審議会

2 開催日時 令和8年2月26日（木） 午後2時から午後3時まで

3 開催場所 市役所藤沢支所 特別会議室

4 出席者

(1) 委員 時田一男委員、千葉とき子委員、千葉英利子委員、千葉大委員

(2) 事務局 藤沢支所 千葉紀代藤沢支所長、鈴木浩司藤沢支所地域振興課長、
伊藤歩藤沢支所地域振興課課長補佐兼地域協働係長、
千葉拓也藤沢支所地域振興課主任主事

(3) オブザーバー (株式会社一関ケーブルネットワーク（指定管理者）社員)
菅原親裕局長、藤根和広制作部副部長

5 議題

(1) 報告 令和7年度放送番組の実績（令和7年12月末現在）について

(2) 協議 令和8年度放送番組の内容について

(3) その他 告知放送の運用終了について

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者の数 1人

8 委嘱状交付

会議に先立ち、市長代理の千葉藤沢支所長から委嘱状を交付した。任期は令和7年12月1日から令和9年11月30日まで。

9 挨拶

藤沢支所長

委員の皆さまにおかれましては、ご多忙のところご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

先ほど、委嘱状を交付させていただきましたが任期は令和9年11月30日までの2年間でございます。どうぞよろしく願いいたします。

一関市藤沢情報通信センター放送番組審議会は、放送番組の適正化を図るため、放送法に基づき、一関市藤沢情報通信センター条例により設置し、年2回開催しており、本日は今年度2回目の審議会となります。当センターの放送番組につきましては、防災、行政情報、地域のイベントなどについて、タイムリーな情報発信に努めているところでございます。

現在、ふじさわテレビの加入率、告知放送の加入率はいずれも減少傾向で

ございますが、光ファイバーケーブルをN T Tに貸し出してサービスを提供しているインターネットにつきましては、微増という状況になっております。

全体の傾向としては、新築や転入による加入がある一方で、転居、高齢者の施設入所などによる解約ということも増えてきておりますし、こういった傾向は今後も続くと思っております。

本日は、今年度の放送番組の実績の報告と来年度の放送番組の内容について協議をさせていただきます。

また、告知放送の運営につきましては令和9年3月末をもって終了する方針としており、本日から地域の皆様への説明会を開催することとしております。このことにつきましても、後ほど説明をさせていただきます。

本日は皆様からの忌憚のないご意見をお願い申し上げまして、開会に当たっての挨拶といたします。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

10 会長、副会長の選出

一関藤沢情報通信センター条例第29条により、会長、副会長を互選した。推薦により、会長に時田一男委員、副会長に千葉とき子委員が選出された。

11 審議内容

(1) 令和7年度放送番組の実績（令和7年12月末現在）について（報告）

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

会 長 4ページにあるインターネットの接続件数は、(株)一関ケーブルネットワークとの契約件数という意味か。自分は別のプロバイダを利用しているが、この件数には入らないのか。

事務局 藤沢情報通信センターの設備として地域内に敷設している光ケーブルを利用したインターネット契約件数をN T T東日本が把握しており、この数値は特定のプロバイダに限らず当センターの光ケーブルを利用した契約の全件となる。

会 長 (株)一関ケーブルネットワークとの契約の方が料金的に得になるということもあるか。

事務局 プロバイダ契約の料金比較は行っていないが、(株)一関ケーブルネットワークを利用することでの特典はある。

オザバー テレビの契約では、NHK受信料について月200円程度の一括割引があり、インターネット契約に関しても様々な特典があるので、ホームページ等をご覧いただきたい。

委員 昨年もクマの情報が多く放送されたが、放送の仕方について、「今朝クマの目撃がありました」ということを数時間後の10時頃に放送しても、もうとっくにクマは逃げてしまっているのではないか。通勤通学の時間帯に目撃した人がいて、どういう経路で通報があつて放送されるものなのか。消防署で受け付けるなどして、なるべく時宜を捉えて放送することはできないものか。

事務局 目撃者から事後、支所に連絡がある場合や、夜間や早朝に本庁の当直や警察署等に通報があつた情報が開庁後に支所に引き継がれる場合もある。また、足跡や糞などの痕跡が見つかった場合は、猟友会とともに現地を確認してから放送するというケースもある。

委員 関連して、令和9年3月末に予定している告知放送の終了後、例えば小中学校や通学路等でクマの出没があつた場合の情報伝達はどのように行うのか。

事務局 これまでも支所に情報が入った時点で、学校へ知らせる対応をとっている。また、いちのせきメールでもクマ情報は配信されるので、その活用を促進したい。

委員 どういう方法であれ子どもたちにも確実に情報が伝わるように徹底していただければ良い。

(2) 令和8年度放送番組の内容について（協議）

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 テレビでラジオを聴けるということは初めて知った。

事務局 その点は、意外と知られていない機能として改めて紹介した。

委員 告知放送はスイッチを入れていれば必ず耳に入ってくるが、それが来年度いっぱいではなくなるということで、ふじさわテレビのデータ放送やラジオの放送は自分からアクションを起こさないと視聴できないということの良いか。

事務局 告知放送との違いという部分では、視聴者が能動的に情報を取りに行くか、勝手に流れてくるかというところが違う。

委員 高齢者からすると、例えばテレビをつけて、チャンネルを選択して、それからこれはどうするのだというところから始まる。やり方を知っている人は良いが、やり方を知らない人はなかなか難しいので、何か工夫ができないものか。

事務局 来年3月の告知放送終了前までには、ふじさわテレビのどういう機能

でどのような情報が見られるかということ、極力周知していきたい。
会 長 告知放送がなくなるのは本当に大変である。今日からの説明会の中で、何とか残す方法はないのかという意見が多く出てくると思う。

委 員 FMあすもは、全戸で聴こえるようになっているか。

事務局 FMあすもを開局した当時、まだ合併前だった藤沢地域も含めて難視聴エリアの調査を行っており、その結果として大籠に中継局を設置した。エリアとしては藤沢地域を含む市内全域がカバーされている。ただし、家屋の立地条件等で電波の取得が難しいという世帯は、一定数あるので、そういった世帯に対しては、従前から市が屋外アンテナを設置する対応をとっている。

藤沢地域では、告知放送という仕組みがあったことから、屋外アンテナでの対応があまり浸透してこなかった。今日からの説明会では、その部分の説明も行う。今後1年を通して仕組みの周知を図っていきたい。

委 員 私の自宅は電波が全然入らない。屋外マスト放送も、登米市、気仙沼市の放送は聞こえるが一関市の放送は聞こえない。防災無線は役に立っていない実情がある。

事務局 藤沢地域に限らず、防災行政無線に関しては難聴地区がかなりある。

FMあすもについては、屋外アンテナでの対応となるので、申出があれば実地調査して対策する。

委 員 このような状況なので、告知放送がなくなることへの不安がある。

(3) その他 告知放送の運用終了について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委 員 各戸に設置しているスピーカーはどのようにするのか。

事務局 令和9年度以降に市で回収する方向で考えている。回収方法については、令和8年度中に周知してまいりたい。

委 員 費用負担はどうなるか。

事務局 費用については、市で別途予算措置して行うことを想定している。

委 員 端末機器には都市鉱山と言われるような素材は含まれていないのか。

事務局 銅線などの価値のあるものが含まれるので、なるべく無駄にしないように回収していきたい。

委 員 告知放送の運営には多額の費用がかかるので、終了することは仕方のないことだと思うが、次善の策をきちんと行って欲しい。よろしく願いしたい。

委員 藤沢情報センターの赤字の原因はやはり物価高騰のためか。

事務局 物価高騰も大きな要因である。値上がりは、放送機器に限らず、燃料費や人件費など経常的な費用にも影響している。

なお、現在の指定管理料は5年前の実績を基礎に積算されているので、5年間で当センターの指定管理業務に係る状況がこのくらい変わったというように見ていただきたい。

会長 告知放送は藤沢地域の人たちに完全に認知されてきた事業で、これがなくなるということは大きなことである。ふじさわテレビのデータ放送でカバーできるのか。

事務局 データ放送では、基本的には告知放送と同じ情報を流しているが、告知放送には加入しているがふじさわテレビには加入していないという世帯もある。その場合はテレビでのデータ放送の視聴はできない。先ほど委員からお話があったように自然に耳に入ってくる情報から、これからは自分から見に行かないと情報を得られないという違いがあるのも事実である。

まず、ふじさわテレビに加入していない方については、アプリケーションのJ Cスマートを紹介していく。これも自分から見に行かなければいけない情報ではあるがふじさわテレビに加入していなくても無料で利用できるもので、こちらを勧めていくということを考えている。

委員 世代的な問題もあると思う。50代以下の世代は、主体的に情報を得るということに慣れているので、スムーズに移行できると思うが、それより上の世代では、少し抵抗があるかもしれない。代替ツールの利用の仕方の講習会などをしていくというような対策があると良いと思う。

事務局 告知放送に関する市内部での検討段階でも、今皆さんからいただいているような懸念は想定している。対応するための丁寧な説明が必要だと考えている。なるべく早い段階で、工夫して利用者に周知してまいりたい。

委員 J Cスマートのアプリケーションの表示形式は、どこのチャンネルも同じなのか。

事務局 J Cスマートはジャパンケーブルキャスト(株)が運営し、全国をエリアとして加入しているケーブルテレビのチャンネルで、同様の表示形式となっている。

オザバー 遠野、気仙沼、塩竈などのケーブルテレビのチャンネルも掲載されて

いる。

委員 災害時などの場合に、トップ画面に情報が表示になるような仕組みにはなっていないようなので、その点が物足りない。

オブザーバー JCスマートは、NHKの防災アプリのようにローカライズされていないので、ピンポイントでリアルタイムの情報が見られるという形にはなっていない。まだ成長過程のアプリケーションで、ニーズに応じた仕様にしていくための提言があれば、提携企業として運営元に伝えていきたい。

会長 今ここで出たような話も、実際にそのツールを利用する皆さんへ周知していってほしい。

事務局 周知徹底を図りたい。

オブザーバー 当社でもすぐに対応できることとそうでないことがあるが、利用者の皆様のニーズになるべく応えていきたい。どんどん利用して意見を寄せていただき、アプリの運営元の方ともコミュニケーションをしながら、より良いものにしていきたい。

12 その他

オブザーバー 告知放送を運営している自治体は全国でも相当数認められ、同じように機器更新の時期が同じように来ている状況が多い。その中で、藤沢情報通信センターと同じような機器を採用している自治体がだいぶ減っていて、当社としても機器メーカーの方とも、今はどういう機器があっどれぐらいコストかかりそうかということを知ってきたが、やはり告知放送から撤退する自治体等が増えているという状況を聞いている。

告知放送から撤退する事業所等の増加に伴い、メーカーもどんどん機器の製造から撤退してきているという状況である。このことも機器の価格高騰に繋がる大きな要因になっているほか、十分な量のレアアースの入手が困難となってきたという情勢で、各メーカーでは、告知放送用の機器の製造がかなり停滞し、価格が高騰している。

テレビからの情報取得については、告知放送のようにプッシュ型でできないというのは確かにその通りである。テレビで見ようと思ったときに、電源を入れて、次にチャンネルを合わせて、さらにdボタンを押すというステップがあるが、ボタンが小さくて押し間違えそうになったり、どれがdボタンかわからなかったりするので、テレビを点けて、dボタンを探してという手順が手間だということは、先ほどの話を聞きながら、何とかならないかと考えていた。

一つの方法としては、テレビを点けて、チャンネルを選んだ段階で、データ画面が表示される基本設定にするという仕様に変更することもできなくはない。もし、そういう要望が大勢を占めるのであれば、ふじさわチャンネルについてはそういう仕様に変えることもできる。とにかくチャンネルを見ていただいて、要望があれば、可能な範囲での対応をして、より良い状態にしていきたいと考えている。こちらとしても事業継続に弾みがつくので、気軽に声をかけていただきたい。

13 担当課 藤沢支所地域振興課